



**自己表現へのステップ**  
 自分をなかなか表現できない子どもには、その子なりの参加の姿を受けとめながら、徐々に自己表現をしていけるように引き出していきます。子どもが自分から参加しようとする気持ちを持てるような関わりを心がけています。

## section 24 4歳児の保育

### 多様な人間関係の中で心が育ちます

基本的な生活習慣も身につく、身の回りの自分のことが色々できるようになる時期です。自分の得意なことも分かってくる時期なので、褒めながら、協力して最後まで頑張る力を育てます。また、関わりを持つ人が増え、友だちとのトラブルも多くなりますが、人との関わりを通して相手を思いやる気持ちを持ったり、仲間と遊ぶ中でルールや決まりがあることをしっかりと学んでいきます。行動にも計画性が出てくるようになり、保育者や友だちなど人の存在をしっかりと意識して、相手の言うこと、考えていることを理解して一緒に遊んだり行動することを楽しめるようになります。

① **ワンポイントアドバイス**

子どもが自信を持って成長できるように周囲のことも見えてきて、自分の得手不得手が見えてくる時期でもあります。得意なことをたくさん伸ばし自信につなげ、苦手なものにも頑張って挑戦していくためにも、結果がどうであれ、頑張っている・頑張った姿を受けとめてあげてください。子どもが自分で挑戦する姿を信じて見守ることもまた、子どもの自信につながります。



### より多くの体験ができるように…子どもたちをあたたく見守ります



### 仲間とともに遊びを展開します

少人数ですが、お互いに誘い合って遊べるようになります。遊びのルールを説明していくと、理解してそのルールを守って遊ぶことができ、自分たちで遊びを展開していくこともできるようになります。キャッチボールや島おに、陣取りじゃんけんなど、ルールが少しずつ難しくなっていく中で、友だちと遊ぶことが巧みになり、遊びで負けたとしても次がある、というような気持ちを持てるようになっていきます。保育園では日々の生活の中で、少し先の見通しを持って友だちと遊んだり関わるような環境設定をしています。



### 想像力を育みます

友だちと一緒に遊ぶことがとても楽しい時期です。絵本の読み聞かせで物語の中の世界を楽しみ、絵を描いたりごっこ遊びをする中で、自分のイメージを持ちながらもみんなと一緒に想像していく力を育てます。自分たちでこいのぼりやちょうちんを作り、自らのイメージを表現していく力を培うとともに、日本古来の伝統文化にも触れています。



### 自然の中で学ぶ

全身のバランスをとる能力が発達する時期です。自分で身体の動きを上手くコントロールできるよう、外に出て身体を使った遊びをたくさん行います。少し難しいことにもチャレンジしてみようという気持ちや、その気持ちになったときに実際できるような身体作りを心がけています。チューリップ・大賀ハス・紅葉など、季節の移り変わる様子を肌で感じながら散歩へ行ったり、じゃが芋・さつま芋を植えて収穫し、自分たちで大切に育てた野菜を食べたりする中で自然の変化や営みに気づき、感謝の心を育てます。

